

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成27年度第2回総合教育研究所運営委員会
- 2 開催日時 平成28年2月29日（月） 午後1時30分から
午後3時00分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 研究室7
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 竹内 修, 秋山 勉, 岡部 佐知子, 中村 恵子, 永盛 久貴,
佐々木 美夏, 高瀬 利博, 鈴木 康之, 小川 哲哉
 - (2) 執行機関 小野 司寿男, 鈴木 功, 橋 義孝, 内田 和子,
萩谷 孝男, 黒須 雅継
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 平成28年度総合教育研究所運営方針について（公開）
 - (2) 平成28年度事業計画及び平成27年度事業実施状況について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
平成28年度第2回水戸市総合教育研究所運営委員会
- 9 発言の内容

執行機関 ただ今から、平成27年度第2回水戸市総合教育研究所運営委員会を開催いたします。まず、始めに____委員長より御挨拶を申し上げます。

委員長 （挨拶）

執行機関 続きまして、当運営委員会の出席状況ですが、10名の委員のうち9名の委員が出席しております。水戸市総合教育研究所条例第8条第2項に規定する定足数、2分の1以上に達しております

ので、本会議は成立となることを御報告いたします。

それでは、議事に入りますが、水戸市総合教育研究所条例第8条第1項で「委員長は、会議の議長となる。」と規定されておりますので、議事の進行について、____委員長よろしくお願いいたします。

委員長 それでは、議長を務めさせていただきます。

議事に入る前に、前回欠席された____委員及び____委員とは、初めての方もいらっしゃると思われまますので、順番に自己紹介をお願いしたいと思います。

____委員 (自己紹介)

____委員 (自己紹介)

委員長 ありがとうございます。それでは、次第に基づきまして議事を進めます。始めに「平成28年度運営方針について」事務局から説明をお願いします。

執行機関 (平成28年度総合教育研究所運営方針について資料に基づき説明)

委員長 ただ今の説明について、委員の皆様方から御質問、御意見ございましたらお願いいたします。

この後それぞれの説明があるとのことですので、次に進ませていただきます。「平成28年度事業計画について」事務局から説明をお願いします。

執行機関 (平成28年度事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、小中一貫教育「まごころプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、学力向上推進事業「さきがけプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、いじめ解決推進事業「ふれあいプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 研究・研修に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 助言・指導に関する事業のうち、学校訪問及び生徒指導の充実について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 助言・指導に関する事業のうち、情報教育及び広報活動の推進、移動天文車活用事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 助言・指導に関する事業のうち、情報プラザ等での展示事業及び日本語指導の実施について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 支援相談に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 放課後児童対策に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 青少年相談に関する事業について資料に基づき説明)

委員長 それでは全体の中から、御質問、御意見ございましたらお願いい

たします。

____委員

8ページの学力向上推進事業ですが、すごく大事な基本的なことだと思うのですが、今、文部科学省が次の学習指導要領のことで盛んに小・中・高に働きかけているのがアクティブ・ラーニングです。アクティブ・ラーニングの研修を受けたりすると、こちらの方が伸びるかなと個人的には思っているのですが、小・中学校においては習熟度別の学習が一番効果があるのでしょうか。

執行機関

全てにおいて習熟度別学習を実施しているわけではなく、それぞれのねらいに応じて、少人数指導であったり、TTであったり、習熟度別学習であったりということで、そのねらいが達成するのにふさわしい、それぞれの個に応じて指導を充実させていくということかなと思っております。

____委員

____委員が言われたとおり、アクティブ・ラーニングはすごく重要視されており、大学においては文部科学省から確実に実施するように指導されています。2ページの(1)のア、話を聞く態度、学習活動での話し合い活動・教科等での話し合いの指導の充実がアクティブ・ラーニングのことを意味しています。話し合い活動、私もアクティブ・ラーニングの授業をやっているのですが、ただ単にしゃべればいいというものではありません。ある程度の知識を持っていないと話し合いが深まらないということを実際にやってみて感じました。例えば、世界の食糧事情において、日本の残飯が大きな問題になっていることについて大学生に語らせると、少し話したところで止まってしまいました。つまり基礎学力の充実が土台になれば、その先の情報活用能力のような応用力が身に付きません。どうもアクティブ・ラーニングという言葉だけが一人歩きしてしまっていて、それだけやればうまくいくような印象がありますが、そうではなく、基礎学力をきちんと身に付けさせることは重要なテーマだと思います。両方がかみ合うことが重要なのではないかと思います。

3ページの(6)で道徳について、水戸市は副読本の活用やボランティア活動等を行っており、来年度ももちろんやっていただくことは問題ないのですが、おそらく4月以降、かなりドラスティックに道徳の問題は変わっていくと思います。おそらく検定教科書の中にアクティブ・ラーニング的な道徳が入ってきます。それは学習指導要領の中に、討議型のものとスキルトレーニング、ロールプレイをするようなものを入れるようにあるからで、平成28年度の話になるかと思います。平成28年度の運営方針はこれでよいと思いますが、平成29年度に向けて、討議型の道徳の在り方、あるいは

ロールプレイをするような、モラルスキルトレーニングというのですが、その辺りが具体化するのではないかと考えています。高校では4月から、義務教育から見ると2年早く、この討議型とモラルスキルトレーニングを始めます。ノウハウは2年間で培ってきましたが、これがやがて義務教育に大きく影響してくると思いますので、道德教育の在り方を、先を見据えて根本的に変えていく必要があると思います。

最後に、高校で討議型とモラルスキルトレーニングをやってみると、学力の低い子どもたちが、教科の時には手を挙げないのに、道德の時には自分が発言できることに自信をもち、非常にやる気になっている姿を何度も見えています。読み物教材を中心とする道德も日本の在り方として非常に良いという感じがしますが、時代が変わってきていますので、子どもたちが楽しく話し、人の意見を聞くという体験がアクティブ・ラーニングとしては非常に重要で、道德については、習熟度の問題をあまり考えなくてもできるのかなと思っています。小・中・高とよく連携しながら、平成28年度の国の施策をじっくり見ながら先取りする形のプランを、平成29年度に向けて考えていただければと思います。

____委員 ____委員から大きく3つ、1つ目は学習指導については、アクティブ・ラーニングの方法と基礎学力との結びつきを考えることが必要だろうということ。2つ目は考え議論する道德になっていくので、平成29年度に向けての道德の指導に着目していくこと。3つ目は小・中・高との連携ということだったかと思いますが、そういったことを踏まえて、総研からの学校への指導もお願いしたいと思います。

執行機関 ____委員のおっしゃるとおりだと思います。今年度も道德の部会の方でも御指摘のあった取組は始めていますが、やはり具体的に先がよく見えないこと、国の整理が間に合うのかということ、評価に係わる部分があるという未知の領域に入っていくことになりましたが、十分に検討してまいります。

____委員 6ページの郷土水戸に関する教育の充実については、昔から重点的に取り上げられてきた内容で、水戸教学であり、社会科副読本が小学生用、中学生用と作られています。新たに児童用資料集「日本遺産学習 水戸の教育遺産」を筑波銀行の支援をいただいて作るということですが、これまでとの整合性と、今後、中学生用を作る予定があるのであれば、小学生用と中学生用との指導内容の違いがあるのかをお聞きします。

執行機関 整合性の点については、今までの副読本の部分も生かしつつ、

社会科教諭のプロジェクト委員の中で検討して作らせていただいたので、整合性はとれているものであると同時に、新たに日本遺産ということで、郷土に生きる人間として、最終的には水戸を愛し、水戸を語れる人間を作るために作成させていただきました。この件に関しては、中学生への配布ということではなく、毎年6年生に対して5年間ほど配布する予定ですので、小学校時代に日本遺産について厚く学ばせることを中心に考えております。

____委員 小学6年生対象に配布ということで、小学校にとっては、小さいうちからとよく言われ、総合的な学習の時間ができてから何々教育というのがどんどん多くなって大変ではあります。整理しながらやっていかなければならないのかなと思っています。

____委員 世の中が変わってきていて、例えばコンビニエンスストア1軒にパートさんが大体50人くらいいますが、保護者が夜間に働くことで、子どもたちの不登校といった弊害が生じているのではないのでしょうか。最近は権利の主張が大分強くなってきていますが、個人的には権利と義務は両輪であると思っていますので、権利を主張するからには義務を履行するというのが大事なのかなと思っています。資料を見ると、開放学級関係の予算や特別支援教育関係の予算が増えていますが、そもそもなぜ増えているのかを市民や議員の方が分かっていないと、際限なく膨れ上がってってしまうのではないかと危惧を感じています。

執行機関 水戸市の予算ですので、予算審議の際に必要な説明はしております。ただ、なぜ必要なのかについての理解を前提として説明することも、おっしゃるとおり大事なことだと思います。

____委員 教育相談や開放学級の予算が増えていることがなぜかというのは大事なことです。学校の現場サイドから一言で言うと、家庭が変質したことにあります。例えばPTAの役目というのは、子どものために学校と協力することもあります。同時に保護者の意識を高めていくという大事な仕事が増えたと思っています。学校によってでしょうが、自分の学校では保護者の意識啓発といったものは、完全に学校の仕事の一部になっています。それをやらないと子どもに効果が出ないので、健全にいかなくなってしまう。家庭の変質が根本にありますので、PTA活動を頑張ってください。

____委員 ____小学校でおやじの会というのを立ち上げ、父親のボランティアで池の掃除をしようと、500枚の案内を配りましたが、1年生の保護者1人しか集まりませんでした。

____委員 東京と比べればまだ水戸はましなのかなと思います。モンスター

ペアレンツ，モンスターシティズン，モンスターティーチャーとあり，特にモンスターシティズンは学校に対して，木の枝が自分の家に入ってきたから切ってほしい，子どもの声がうるさいから近寄らせないでほしい等，権利と義務の話がありましたが，権利ばかり主張する方が多くなってきていて，学校が防衛のために保険や弁護士をお願いしなければならない地域があると聞いています。全てを先生に丸投げして，学校に責任を負わせている状況になっています。これは日本の特異な状況で，ヨーロッパでは必ず自己責任を果たしていくという意識があり，例えば駅で電車のベルなど鳴りません。日本は全部を行政にお任せということになっていますので，できることとできないことについて，全部を抱え込む必要はありませんので，そろそろ学校も声を上げていいのではないかと思います。やり方を間違えると保護者が敵になってしまいますので，地域連携の在り方の問題にもなってくると思います。

____委員 インターネットや週刊誌等で，なぜ部活動をさせられなければならないのか，まるでブラック企業だと教員から言い出しています。自分が現役の頃は，家にいるよりも部活をしていた方が楽しかったのですが，今はそう思う人が減ってきているように思います。モンスターペアレントの話がありましたが，中学校の先生方はそう感じるところがあるのではないのでしょうか。

茨城県でも全員ではありませんが，教員向けの保険があり，かなり加入している状況です。

____委員 21ページの教育相談に関してですが，自分の学校も大分落ち着いたとは言われていますが，長欠生徒については一番悩んでいるところです。おそらく総研と学校が一番密接に結びつくところは，来所相談であるとか，うめの香広場へのお願いになってくるかと思いますが，最近非常に混み合っていて，面談がなかなか進まないと聞いています。改善等，何かありましたらお願いします。

執行機関 今は特に女の子の相談が多い状況があり，面談をする人は女性がよいと言われるので，そこで混んでしまっている状況があります。次年度に向けて相談員1人を男性から女性に替えるとともに，女の子の相談であっても男性の相談員でもよいかをお聞きして，それでもよいということであれば早めに入れるようにやっているところです。

____委員 6ページの郷土水戸に関する教育の充実ですが，今年度から水戸まごころタイムが始まりました。スタートに当たり昨年度から，資料やどのように連携をするといったことを，総研が中心となっ

て基本となる枠組みを揃えてもらいましたが、今年、実際にやってみて、学校でいろいろな課題が出てきたところです。新しく児童用の資料を出してもらえとのことですが、資料がない部分もいっぱいあり、評価の問題や基準をどうするかといったことについて、まだまだ整備しなければならないことが残っている現状があると感じています。

____委員 総研にいた幼稚園担当の嘱託員が、幼児教育課に移るということですが、きちんとした目的や職務を明確にする必要があると思います。19園の教師の質の向上のために配置するのか、あるいはクレーム全般を引き受けてもらうのか、全てを1人で対応するのは大変ではないかと思えます。また、幼稚園担当が総研から離れることで、ますます総研から幼稚園が離れてしまうことになるのではないかと心配しています。

執行機関 そうならないようにしたいと思います。

____委員 小学生と中学生の子どもがいますが、いじめの問題が周りで起こっている感じはありませんでした。不登校がこんなにて、教育相談も多いということに驚いています。周りの子で学校に行けないという話は何人か聞いたことがあります。家庭でしっかり指導ができている場合は学校に復帰できているようです。

委員長 それでは、以上をもちまして議事を終了いたします。委員の皆様方には、議事進行に当たり御協力を賜りありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

執行機関 ありがとうございました。それでは、最後に総合教育研究所所長の____から御挨拶を申し上げます。

執行機関 (挨拶)

執行機関 以上をもちまして、平成27年度第2回水戸市総合教育研究所運営委員会を終了いたします。本日は御多用中のところ御出席いただき、誠にありがとうございました。